

安全データシート

整理番号 : GL001GJ01

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : くるみ製本のり XA
供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
046-237-1686
供給者のファクシミリ番号又は e-mail アドレス : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com
担当部門 : 品質保証部
環境商品安全統括 G

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : ホットメルト接着剤
使用上の制限 : 推奨用途以外の使用は推奨しない

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類 : 分類されない
GHS ラベル要素
絵表示またはシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : なし
GHS 分類に関係しない又は : なし
GHS で扱われない他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分及び濃度又は濃度範囲 : 営業上の秘密に該当する通知対象物質の含有量は、10%刻みの記載とする。(基発 0424 第 2 号に基づく)

化学名又は一般名	含有量(重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
エチレン/酢酸ビニル共重合体	40-50	6-6	24937-78-8

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

粘着付与樹脂	30-40	非開示	非開示
パラフィンワックス	10-20	8-414	8002-74-2
酸化防止剤	<10	3-1693	6683-19-8

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合	：	異常を感じた場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	：	石鹼を使い水で洗うこと。 加熱溶融状態の製品が皮膚に付着した場合は、直ちに水で15分ほど冷却し、火傷に対する医療処理を行う。
眼に入った場合	：	すぐに多量の水で洗浄すること。刺激が残る場合は医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	：	口の中を水で洗い直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状		
吸入	：	蒸気は、鼻、のどを刺激するおそれがある
皮膚	：	皮膚に対する刺激性、感作性は予測されない。(11 項 有害性情報参照)
眼	：	蒸気は、眼を刺激するおそれがある。
経口	：	情報なし
応急措置をする者の保護及び 医師に対する特別な注意事項	：	特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	：	なし
特有の危険有害性		大規模な火災の場合は、水を散布すると飛び散る場合があるので泡消火剤などを用いる。
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置		必要に応じ、適切な保護具（手袋、マスク、ゴーグルなど）を着用する。

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
- : 作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する。
 - : 下水や地表水、地下水へ流出させない。
 - : 付近に着火源があれば速やかに取り除く。
漏出物は適切な道具を用いて空容器などに回収する。もし溶融物が漏出した場合は、冷却後、空容器などに回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 換気のよいところで取り扱う。必要に応じ適切な保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 火気を近づけない。
眼、皮膚または衣類につけない。取り扱い後は手洗い、うがいを十分に行う。溶融物に接近する場合は、火傷防止のため手袋、長袖作業衣、保護眼鏡等を着用する。
必要に応じて、防毒マスク、または送気マスクなどの吸引防止措置を行う。
- 接触回避 : なし
- 衛生対策 : なし

保管

- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、40℃以下で保管する。使用後は密封し、施錠して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 紙袋に入れ、それを段ボール等の容器に入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	労働安全衛生法 濃度基準値	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
ホットメルト接着剤	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

成分

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	労働安全衛生法 濃度基準値	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
パラフィンワックス	設定なし	設定なし	設定なし	ACGIHの最新版の 許容濃度を参照

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

設備対策	:	特になし
保護具	:	
呼吸用保護具	:	必要に応じて呼吸系保護具を着用
手の保護具	:	必要に応じて保護手袋を着用
眼、顔面の保護具	:	必要に応じて保護眼鏡着用
皮膚及び身体の保護具	:	必要に応じて長袖作業衣、手袋着用

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	ドロップ状
色	:	淡黄色
臭い	:	僅かに樹脂臭
融点/凝固点	:	74～84℃（軟化点）
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:	データなし
可燃性	:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:	データなし
引火点	:	220℃以上（セタ密閉式）
自然発火点	:	データなし
分解温度	:	データなし
pH	:	適用外
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	
水溶性	:	不溶
脂溶性	:	難溶
n-オクタノール/水分配係数（log）	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	約1.0（20℃）
相対ガス密度	:	適用外
粒子特性	:	データなし
その他のデータ	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常取り扱い条件においては危険な反応は起こらない。
化学的安全性	:	通常取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	:	なし
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避け

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

危険有害な分解生成物 : 燃焼などにより CO 等の有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50	: >2000 mg/kg (GHS 区分に該当しない)
経皮→LD50	: データなし
皮膚刺激性(: なし
皮膚腐食性	: なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: なし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん性有害性	: データなし
その他	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

急性毒性	魚類 96 時間 LC50	: データなし
	ミジンコ類 48 時間 EC50	: データなし
	藻類 72 時間 EC50	: データなし
残留性・分解性		: データなし
生体蓄積性		: データなし
土壌中の移動性		: データなし
オゾン層への有害性		: データなし
他の有害影響		: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 :
 廃棄は、法令や地域の条例に従うこと。廃棄物は廃プラスチックに分類される。

くろみ製本のり XA 富士フイルムビジネスイノベーション(株) GL001GJ01

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
品名 (国連輸送名)	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
特別な注意事項	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
MARPOL 条約 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送 される液体物質	: 該当しない
国内規制がある場合の規制情報	: 該当しない

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 2 号・別表第 9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 5 7 条の 2 、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9) 固形パラフィン 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 0 条別表第 2) 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 2 号～第 3 号、安衛則第 3 4 条の 2 別表第 2)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 指定可燃物 : 合成樹脂類 (その他のもの)
化学物質排出把握管理促進法 (P R T)	: 該当しない

作成日 : 2022/05/20

改定日 : 2025/03/14

版 : 2

R法)

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

参照規格

本安全データシート（SDS）は、JIS Z 7253 : 2019（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252 : 2019（GHSに基づく化学品の分類方法）に従っている。

本 SDS 項 9、11 および 12 の記載データは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果または成分のデータに基づく推定です。

引用文献

- 労働安全衛生法 管理濃度
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構 (WHO) 国際がん研究機関 (IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語

- 化審法: 化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法: 労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- TWA: Time Weighted Average（時間加重平均）
- JIS: Japanese Industrial Standards（日本産業規格）